

役場全体がワンチーム、全員野球の精神

初めに、新型コロナウイルス感染症の影響が今なお長期化している状況については、この国難を克服するために政府・自治体・医療機関・国民が一丸となって取り組み、社会経済や日々の暮らしの正常化に挑んでいるところであります。本町においても、町民の生命と暮らしを守ることを第一に、感染拡大の防止、ワクチン接種の推進、中小企業者減収対策、生活困窮支援等の対応に、役場全体がワンチームとなり邁進し続けてまいりました。

また、町民の皆さまには、ウイズコロナの社会にあって、生活や仕事にご苦勞される中



▲議場で施政方針を述べる齋町長
(令和4年3月2日)

で、手洗い、マスクの着用、換気の徹底など感染拡大防止にご協力いただきましたことにご心から感謝申し上げます。現在、変異ウイルスがまん延する中でありますが、本年度こそは、3回目のワクチン接種や新しい経口治療薬の効果等により、コロナ禍の社会不安が薄れることに対し大きな期待を寄せているところであります。

政府においては、新型コロナウイルス感染症対策を最優先としながら、ポストコロナの持続的な成長を生み出す4つの原動力として、「グリーン社会の実現」、「官民挙げたデジタル化の加速」、「日本全体を元気にする活力ある地方創り」、「少子化の克服、子供を産み育てやすい社会の実現」を強力に推進していくことを示しております。これらの基本方針に沿い、政府の令和4年度予算案・一般会計の総額は107兆5964億円と4年連続で100兆円を超え、過去最大となりました。

一方、本町の令和4年度一般会計当初予算の財政状況は、医療・福祉・介護など社会保障費の増大や一部事務組合への経常的な負担に加え、白石川右岸河川敷等整備や公共施設の老朽化対策、行政のデジタル化などにより、財政調整基金及び公共施設等整備基金からの繰入を行った予算となっております。ただし、両基金とも昨年のふるさと寄附金の増大に伴う剰余分の積立が行われており、憂慮する基金残高となっていないのが現状です。しかしながら、ふるさと寄附金の実績が毎年度約束されているものではございませんので、これまで同様、有利な国庫補助金や交付税措置のある起債の活用を図るとともに、健全な財政計画に則り、ハード・ソフト両面でのメリハリのある予算立てにより政策の実現を図ってまいります。引き続き、町民の皆さま、議会議員各位のご理解とご協力をいただきながら、町職員一丸となって、全員野球により目的の達成に努めてまいりますと考えております。



令和4年度町長施政方針

施政方針は、町長が町政運営にあたっての所信や一年間の基本方針、政策についての姿勢を述べるもので、毎年、3月議会で演説を行います。

今月号では、令和4年度の施政方針のうち、新規事業や拡充事業などを掲載し、主な政策内容についてお知らせします。

みんながまちの主役、ほっとして安全な暮らしができるまち

環境政策

最新の調査に基づき、「大原町空き家等対策計画」の見直しを行います。

交通安全対策

各小中学校の通学路において合同点検を実施し、迅速な対応による安全確保を図ります。

防犯対策

特殊詐欺対策機能付電話機等の購入に対する補助事業を行います。

消防防災

消防団の処遇改善を行い団員確保に努めます。

情報共有

町公式LINEを開設し、積極的な情報発信を図ります。

移住定住

移住経費の負担軽減を図るため、移住支援事業の充実に努めます。

地域ですくすくと育ち、あつたかな生き方がかなうまち

疾病予防

ワクチン接種事業を継続し、町民の生命(いのち)と健康を守るため、効率的なワクチン接種体制を構築します。

母子保健事業

新生児聴覚検査に係る費用の助成を開始します。

児童福祉

・弱視を早期に発見するため、幼児健康診査で屈折検査機器を導入します。

・世代交流いきいきプラザに放課後児童クラブ1単位を新たに開設します。

・子ども家庭課に子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制を強化します。

・家事育児の負担軽減のため、子育て支援サービスの利用促進を図ります。